

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海洋産業の戦略的育成のための総合対策		担当部局庁	海事局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H24/H29		担当課室	海洋・環境政策課 船舶産業課		課長 平原 祐 課長 大坪 新一郎	
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	海洋基本計画等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	急成長する世界の海洋開発市場の成長を取り込むことで、2020年に2.5兆円規模の新市場を創成し、国際競争力の強化及び雇用の創出につなげるとともに、将来、我が国のEEZ開発を自国の技術で行うための知見及び技術を蓄積することを目的として、我が国の海洋産業を戦略的に育成するための総合対策を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海洋開発分野における我が国産業界のビジネス拡大を図り、海洋産業の国際競争力を推進するため、海洋資源開発関連技術(FLNG等)及び次世代海洋環境技術の開発を支援するとともに、洋上ロジスティックハブやFLNGの安全性評価要件策定のための調査研究を行う。 ※FLNG:浮体式液化天然ガス生産貯蔵積出設備						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算			703		
		繰越し等			△ 703	703	
		計			0	1,918	2,004
	執行額			0			
	執行率(%)			0			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	海洋産業の戦略的育成のための総合対策であり、成果指標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	海洋産業の戦略的育成のための総合対策であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	技術研究開発謝金	1	1	我が国海洋産業が海洋資源開発における世界市場を獲得するため、大水深海域等における海洋資源開発関連技術の開発や海洋資源開発プロジェクトへの進出等を支援する。 要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」850			
	技術研究開発調査旅費	1	1				
	技術研究開発委員等旅費	1	1				
	技術研究開発調査費	402	551				
	海事産業関連技術研究開発費補助	810	1,450				
	計	1,215	2,004				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	海洋基本計画等において海洋開発を進めていくことが政府の方針として示されているが、我が国の海洋構造物の世界シェアはわずか1%に過ぎず、このままでは世界の成長に乗り遅れ、また、将来のEEZ開発を我が国自前の技術で行うことが困難となりかねない。こういった現状を踏まえ、海洋産業を戦略的に育成することにより、世界の成長を取り込み、新たな市場を創設し、国際競争力強化及び雇用創出を目指すとともに、将来のEEZ開発を自前で行える技術・知見の蓄積を目指すもの。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	企画競争入札の実施により、競争性が確保されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	海洋産業を戦略的に育成していく上で必要な事業を、より効率的、効果的に実行できるよう、適正な予算執行に努める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 内容の 改善	外部支出については、複数の事業者が参加できるよう、引き続き十分な公示期間の確保等を通じて調達方式を効率化しコストを縮減することにより、適切かつ効率的な予算執行を図るべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行 等 改善	外部支出については、調達方法の見直しを行うことなどにより、適切且つ効率的な予算執行とする。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新24-2057

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

平成25年度予算へ繰越
703百万円

国土交通省

海洋産業の戦略的育成に必要な調査を実施

【企画競争入札】

A. (株)日本海洋科学及び
(独)海上技術安全研究所及び
(株)IHI及び
(一財)日本海事協会

FLNG(浮体式液化天然ガス生産貯蔵積出設備)
の安全性評価要件策定のための調査研究を実施

【企画競争入札】

B. J-DeEP技術研究組合

洋上ロジスティックハブの安全性評価要件策
定のための調査研究を実施

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-